

## ツバメを守ろう！国際交流ボランティアプログラム “グリーン・ホリデー in 台湾”を開催します

(公財)日本野鳥の会(東京、会長：柳生博、会員・サポーター数約5万人)は、台湾の子どもたちとともに、ツバメを観察しながら湿地環境を守る国際ボランティアツアー第二回“グリーン・ホリデー in 台湾”の参加者募集を開始します。

2015年4月25日(土)～28日(火)の3泊4日、台湾のNGOや大学生とともに高美湿地(台中市)の保全活動に取り組みます。また、2か所の小学校を訪問し、子どもたちとツバメの子育てを観察しながら、ツバメと人が仲良く暮らせる環境を守るために何ができるかを一緒に考えます。日本と東南アジアを行き来するツバメは、台湾でも幸福の象徴として人々に親しまれています。本企画を機に、日本と台湾の国際協力でツバメが暮らしやすい環境を考え、アジアに広めていきます。

### 《実施概要》

- 名称：ツバメを守ろう！国際交流ボランティアプログラム グリーン・ホリデー in 台湾
- 日程：2015年4月25日(土)～28日(火)(3泊4日)
- 対象：18歳以上の一般(定員20名)申し込み先着順に受付。定員に達し次第締め切ります。
- 参加費：55,000円/学生 50,000円(航空券代、プログラム中の移動交通費、食費(フリータイムを除く)、宿泊費、教材費を含みます)
- プログラム(予定)：

- |   |
|---|
| 1日目：日本から台湾(台中市)へ移動、オリエンテーション  |
| 2日目：Activity 1. 湿地保全活動<br>Activity 2. ツバメの子育て観察<br>Activity 3. 子どもたちとの交流                    |
| 3日目：Activity 1. 湿地保全活動<br>Activity 2. ツバメの子育て観察<br>Activity 3. 子どもたちとの交流<br>*2日目と別の学校を訪問します |
| 4日目：フリータイム、台湾から日本へ移動  |



### 《プログラム詳細・お申込み、お問い合わせ》

◆ホームページからオンラインで、またはFAX、メール、電話でお申込みください。

申込み先：(株)日本エコプランニングサービス：

<http://www.jeps.co.jp>

電話 03-5807-1691 FAX:03-5807-1692 e-mail: [jeps@jeps.co.jp](mailto:jeps@jeps.co.jp)

◆プログラムの詳細は、ホームページをご覧ください。<http://www.wbsj.org/>

その他プログラムに関する問い合わせ：(公財)日本野鳥の会 TEL03-5436-2625

【プログラム企画】(公財)日本野鳥の会 【旅行企画・実施】(株)日本エコプランニングサービス  
【協力】Ecotourism Taiwan、石川県健民運動推進本部

この活動はトヨタ自動車株式会社のトヨタ環境活動助成プログラムの助成を受けて実施しています。

【本件のプレス関係者様からのお問合せ先】

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル

公益財団法人日本野鳥の会 施設運営支援室 電話：03-5436-2625(月～金) FAX：03-5436-2635

担当：岡本裕子 E-mail：[okamoto@wbsj.org](mailto:okamoto@wbsj.org) <http://www.wbsj.org/>

### Activity 1. 湿地保全活動

#### ●台中・高美湿地 (Gaomei Wetland)

台中の海岸沿いに広がる高美湿地 (Gaomei Wetland) は、重要野鳥生息地 (Important Bird Area) に指定され、多くの渡り鳥が羽を休めます。ツバメも、この湿地で虫をとったり、巣の材料にする泥を運んだりする姿が観察されています。しかし、外来のイネ科植物が侵入し、従来の植生が変わりつつあります。

写真：高美湿地 (手前にヨシ、奥に外来の植物が生えている)



#### ●湿地を守る活動

そこで、地域の野鳥の会 (Wild Bird Association of Taiwan) と、大学生のボランティアで、外来植物を除去する作業に取り組んでいます。グリーン・ホリデー In 台湾では、野鳥の会の皆さん、大学生の皆さんと一緒に、この活動に参加します。



### Activity 2. ツバメの子育て観察

台中の街では、ツバメが子育ての真っ最中です。地域の小学校の子どもたちと一緒に街を歩きながら、ツバメの子育ての様子を観察し、巣の数や場所を記録します。2日目は高美湿地近くの高美小学校 (Gaomei Elementary School)、3日目は國光小学校 (Kuo Kang Elementary School) を訪問します。



### Activity 3. 小学校との交流

ツバメの子育てを観察して気づいたこと、わかったことを、小学校に戻って子どもたちと話し合います。ツバメと人が仲良く暮らせるような環境を守るために、何ができるかを一緒に考えます。

写真：まるで植物園のような、緑あふれる國光小学校。校庭を案内いただきながら、同校の環境活動を知る時間も予定しています。



## ■国際交流で、ツバメの暮らしやすい環境を考える

世界に広く分布するツバメは、私たちにとって最も身近な野鳥の代表です。しかし近年日本では、身近な環境の変化により減少傾向にあるといわれています。原因として、食べ物となる虫が多くすむ田んぼや農地の消失や、住宅構造が変わり巣をつくる場所が減ったこと等が考えられます。

日本のツバメは、秋の訪れとともに約 4000 km を旅し、東南アジアで越冬します。台湾は、アジア圏のツバメの繁殖地と越冬地、渡りの中継地が重なる「交差点」です。しかし、台湾でのツバメの生息状況は、あまり調べられておりません。台湾の郊外には、かつての日本でどこでも見られたような、緑豊かな田園風景が広がります。町並みは張り出したアーケードが連なり、ツバメが巣をつくりやすい空間を提供しています。しかしここでも、宅地開発等による環境変化が急速に進みつつあります。

そこで日本野鳥の会では、2014 年より台湾の NGO と連携し、ツバメをテーマに環境保全ボランティアツアー「グリーン・ホリデー」を始め、日台で協力してツバメが暮らしやすい環境を考えていくこととしました。



## ■第一回グリーン・ホリデーin 台湾～ツバメがくる湿地を守ろう～

2014 年 9 月 13～16 日に、第一回グリーンホリデーin 台湾を開催し、台北市・基隆市の湿地の保全活動とツバメのねぐら観察、ツバメ調査を始めた小学校との交流を行いました。日本からの 23 名のボランティアに、約 60 名の現地 NGO スタッフとボランティア、小学校の児童・先生が加わり、計 250 名が参加しました。活動の様子は台湾のテレビや新聞で報道され、現地からは「野鳥保護団体どうしの国際連携で湿地の重要性を国際社会に周知できた。これから市や国の行政に働きかけ、この地域を国の重要湿地にしていきたい」との声があがりました。

↓ 関渡自然公園（台北市）の保全活動



↓ 子どもたちとの交流



↓ チョフン池の保全



## ■現地 NGO の声 （エコツーリズム台湾・ビクター・ユ氏より）

日台のボランティアが、湿地とツバメを大切にしたいという思いをわかちあって活動しました。日本のボランティアが一生懸命作業に取り組む姿は、台湾の皆の心に響きました。活動を通じて、私たちは自然保護に一層努める責任があると、お互いに確信しました。この精神と、自然を守る活動のコンセプトをもっと多くの人と共有したいです。今回初めて、日本野鳥の会とエコツーリズム台湾が協働し、水面に小さな波紋を起こしました。私たちは互いの協力で、この波紋をより大きく広げられると信じています。



## ■三か国語（日・中・英）のツバメステッカーができました

子どもたちによるツバメの子育て調査を世界に広めるため、日本野鳥の会はエコツーリズム台湾と石川県健民運動推進本部等の協力を得て、日・中・英三か国語併記のツバメステッカー（Give Swallows a Home／家燕的家）を1万部発行しました。

ツバメのイラストは、第一回グリーン・ホリデーIn台湾（2014年9月開催）でともに活動した、台湾の基隆市立深美小学校の児童が描いたものです。

現在、各国の自然保護NGOや協力者を通じて、台湾・香港・ヨーロッパ圏の学校や団体に配布しており、この春からのツバメの子育て観察に役立てていただきます。

子どもたちがツバメを観察する際、ツバメの巣がある家の住人にこのステッカーを渡し、ツバメの巣があるサインとして貼ってもらえるように頼みます。子どもたちとの交流を通じて、地域の人々にツバメを歓迎する気持ちを持っていただくきっかけになることを願っています。

第二回グリーン・ホリデーin台湾の活動の中では、子どもたちと一緒にツバメの子育てを観察しながら、このステッカーを使って台湾の人々と交流します。



ツバメステッカー：Give Swallows a Home／家燕的家／ツバメのお宿

協力：エコツーリズム台湾／石川県健民運動推進本部／基隆市立深美小学校／基隆市野鳥学会

発行：（公財）日本野鳥の会

\*このステッカーは、トヨタ自動車株式会社のトヨタ環境活動助成プログラムの助成を受けて制作しました。